

令和7年度予算審査特別委員会報告書

令和7年3月13日

大山町議会議長 米本隆記様

令和7年度予算審査特別委員会
委員長 杉谷洋一
(公印省略)

令和7年2月27日、令和7年第2回大山町議会定例会において設置された議員全員による、令和7年度予算審査特別委員会に付託された、令和7年度一般会計及び各特別会計予算について審査したので、会議規則第77条の規定により下記の通り報告します。

記

1. 事件名

- 議案第 19 号 令和7年度大山町一般会計予算
- 議案第 20 号 令和7年度大山町土地取得特別会計予算
- 議案第 21 号 令和7年度大山町開拓専用水道特別会計予算
- 議案第 22 号 令和7年度大山町国民健康保険特別会計予算
- 議案第 23 号 令和7年度大山町国民健康保険診療所特別会計予算
- 議案第 24 号 令和7年度大山町後期高齢者医療特別会計予算
- 議案第 25 号 令和7年度大山町介護保険特別会計予算
- 議案第 26 号 令和7年度大山町風力発電事業特別会計予算
- 議案第 27 号 令和7年度大山町温泉事業特別会計予算
- 議案第 28 号 令和7年度大山町宅地造成事業特別会計予算
- 議案第 29 号 令和7年度大山町索道事業特別会計予算
- 議案第 30 号 令和7年度大山町下水道事業会計予算
- 議案第 31 号 令和7年度大山町水道事業会計予算

2. 審査の経過および審査の結果

付託を受けた13議案について、分科会方式で令和7年2月28日から3月5日までの4日間審査を行うとともに、3月10日に委員全員で審査を行った。

その結果、付託された13議案については、賛成多数で、次に述べる意見を付して認定すべきものと決定した。

3. 審査意見

①一般会計

【財務課】

政策的な事業を可能な限り含まない予算となっている。人事院勧告における人件費の増加、物価高騰などから骨格予算において4.45億円の財政調整基金の取り崩しとなっている。大変厳しい内容となっており、今後、公共施設の統廃合における人件費・光熱費の見直し、政策的事業見直しなどを行なっていかなければ、数年で使える基金が底をついてしまう。

問題を問題として認識し、同じ方向を向いて具体的な解決策を実行していくべき。

【健康推進課】

一般会計から診療所特別会計に赤字補填分として毎年多くの予算が繰出されている。

採算が合わなくても地域福祉として必要なら、収益性を求めすぎではなく、必要経費として整理して、赤字補填でなく、運営補助として支出していくべきである。

継続していくのであれば、そういったマインドチェンジも検討していく必要がある。

あわせて、民間の医療機関との話し合い、調整や経費削減、収益増は引き続き検討が必要である。

(2) 特別会計

【索道事業特別会計】

リフト敷地賃借料の824万5千円に関しては、売上に対しての増額はなく、最低限の賃借料2000万円の按分となっている。

リフト敷地賃借料に関して取り決めた頃から、状況も変わっているので、適正な交渉を行っていただきたい。

4. 付帯意見

人事院勧告における人件費の増加、物価高騰などから骨格予算において4.45億円の財政調整基金の取り崩しとなっている。大変厳しい内容となっており、将来、町が進める事業の効率的な運営と具体的な解決策を検討されたい。

以上